

議会だより

News Letter From Hachijo Town Assembly

No.
178
2016.5.25



平成 28 年 3 月 10 日、航空運賃特別委員会委員長が八丈町議長に報告書を提出しました。報告書の提出をもって同特別委員会の調査は終了いたしました。
(報告書は八丈町オフィシャルサイトに掲載中)

航空運賃特別委員会 委員長: 菊池睦男 副委員長: 山下崇 委員: 浅沼憲春、岩崎由美、水野佳子

第 1 回八丈町議会定例会

平成 28 年 3 月 1、22、23、30 日開催

目次

- 八丈版総合戦略決まる 2P
- 一般質問 3P
- 定例会の質疑から 10P

第1回八丈町定例会

(平成28年3月1、22、23、30日開催)



http://www.town.hachijo.tokyo.jp/kakuka/kikaku_zaisei/pdf/H2803is.pdf

八丈版総合戦略決まる

第1回定例会は、町長の施政方針を受け、新年度の予算審議が主な内容となりました。

八丈町人口ビジョン、八丈町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定も終わり、平成27年度から平成31年度までの5年間の計画が示されました。

◎ 八丈島熱中小学校

その中でも住民から関心が高く、懸案であった旧末吉小学校の校舎利用について、地方創生加速化交付金を使った「熱中小学校」が予算化されました。

この事業は、山形県高島町で行われている人材育成の社会人塾を誘致するもので、3月26日には商工会研修室で八丈島熱中小学校オ

ープンスクールが開催されました。

これまで様々な意見や提案があるなか、施設の使い方にも明確なルールがないため全て試行という形がとられてきました。

今回の事業も、事前に説明が無かったため、議員の間からも戸惑いの声も上がりました。今後の町の方針をしっかりと見守っていきま

◎ 給付型奨学金制度

もう一つの目玉がこれまでの無利子貸し付け奨学金制度を改正し、給付型の奨学金制度が創設されたことです。

昨年の選挙で、町長が公約としていた「人材育成で未来へ躍進」の一端を担う政策であり昨年の当初予算とは打って変わり、スピー

ド感を感じました。公金を投入する奨学金である以上、町にとって、若者が戻ってくるという具体的な結果が求められます。これまでの医療系に限らず各種大学、専門学校にも

門戸を広げるものとなっています。条件が満たされなかった場合は貸し付けになります

進学についても、東京農業大学への指定校推薦枠の確保がされ、八丈高校からの進学が容易になりました。

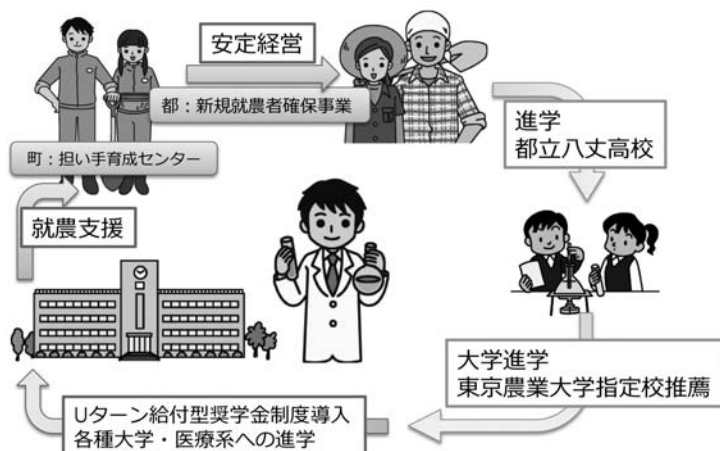
農業分野に限らず、様々な資格を取得した人材が卒業後、Uターンすることで様々な利益をもたらすこと

が期待できます。

また、これまで単独で行ってきた担い手育成事業も、既存の交付金や補助金もより効果的に活用できま

す。産業構造の強化と定住者を増やす施策は非常に重要で、前述の総合戦略と併せて推移を見守るとともに、実効性が伴うよう議会も積極的にかわってまいります。

行政：支援（進学・就農・後継者育成）



給付型奨学金制度の流れ

※1、PDCAとは… Plan 計画・策定 Do 推進
Check 評価 Action 改善
※2、KPIとは… 重要業績評価指標

総合戦略の実現に向けて予算措置を

答 事業展開を見ながら進める



山本 忠志 議員

◆所要時間 30分

過日、「八丈町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が発表された。
派手さこそ無いものの八丈町の現状を直視した現実重視の戦略と受け止め、策定に携わった関係者の努力に敬意を表している。
今後これらを着実に実現することこそが重要であり、その観点から二点伺いたい。

総合戦略実現のためには財源の確保が重要だが、来年度の当初予算に措置されてない施策もある。その理由は

何故か。

答 企画財政課長 平成28年度予算には計上されていないものもあるが、今後の事業展開を見ながら進めていく。また、町職員の内部努力で進めていくものもある。

問 総合戦略中の39の具体策のうち、14の施策は来年度予算が0である。開始当初から頓挫しているのでは、との危惧を禁じ得ない。施策の実現は大丈夫なのか。

答 実施した施策の効果を検証・改善するためにP D C A（※1）サイクルを確立するとともに、客観的K P I（※2）を設定し、5年間のスパンで施策の実現を図っていく。

（※1、2 2頁参照）

問 戦略実現の財源確保のために「ふるさと納税」をどのように活用するのか。また、今年度の納税状況は。

答 総務課長 企業版ふるさと納税（下限10万円、返礼なし）を視野に入れて検討を進めている。これは、総合戦略に位置づけられたものについて、その地域再生計画を作成して企業に提案するもの。
今年度のふるさと納税額は、過去最高であり、総額5320万円。町長のトップセールスが大きな成果を上げている。

問 納税者の意思が尊重されるよう、申込書の改訂をお願いしたい。

例えば、納税金の使途の選択肢を設けたり、返礼希望品を、クサヤ・焼酎・花・黄八丈の中から選択していたら、というふうな改訂はできないか。

答 納税金の使途や返礼品の幅の拡大等、申込書の改訂を考えているが、記載のし

かたについては今後検討していく。

花のある町づくりを

答 既存制度の推進と提案された制度の導入を検討する

問 現在、町で取り組んでいる「緑化対策事業」の一環として、仮称「公園・緑地アダプト（里親）制度」の導入を提案したいが、町の考えを伺いたい。

- その目的としては、
- (1) 来島者へのおもてなし
 - (2) 花を見せて子ども育成
 - (3) 官民協働の町づくり

答 産業観光課長 現在、坂上三自治会で花いっぱい運動、坂下地区でも苗木植栽運動等を進め、成果を上げている。

提案の「公園・緑地アダプト制度」は、住民参加型の意義ある制度と受け止めている。

まずは、既存の制度で花と緑のある町づくりを推進

し、同制度の導入についても検討する。
また、ハマナデシコ等、島にあった花の紹介も推進していく。

答 芥川賞作家を招いて講演会を

答 実現できるように交渉を行っていく

本年1月19日、日本文学振興会の選考により、八丈島出身の滝口悠生氏が第154回芥川龍之介賞を受賞した。

問 町主催の講演会・サイン会等を開催し、中学生や高校生にも夢や志を持たせる機会としたいが、町の考えは。

答 教育課長 現在、受賞作「死んでいない者」の出版元である文芸春秋社に問い合わせるところである。

八丈町の考える食育とは

答 「あ・し・た・ば」を食育目標に、自給率を上げていく



岩崎 由美 議員

◆所要時間 23分



文部科学省では「より一層の地場産物の活用や米飯給食の充実を進める。」としている。八丈町の学校給食は島の食材を用いたものや児童生徒からのリクエストがメニューに並ぶなど工夫あるものになっているが以下について伺う。

食育の取り組み事例があるが、八丈町が力を入れている食育の特徴とは。

地方では様々な移住政策が重視されているが教育環境が重視されている。給食に供される食材は恒常的に消費されるため地域経済にも重要。自給率を上げていくためにこれまで行ってきた具体的な施策は。

農協の公設市場に学校給食の方へ食材を回して貰うように話をしている。八丈島の生産者の一年間の出荷量データを2年間分取っている。それに基づいて学校給食の献立表を作っていくことで率は上がっていくかと思う。出荷できない曲がりキュウリや割れたキャベツなども取り入れて行かないか、そういったことも検討して自給率を上げていきたい。

答 教育課長 八丈町教育委員会では食育目標を「あ・し・た・ば」としている。学校給食では毎月19日を食育の日として、八丈島産の食材を多く取り入れた献立を組み、給食で出た島の食材について教えている。

問 平成23年度給食における島内産食材の自給率は平成23年度で13%だったがそれ以降は。
答 23年度13%、24年度11%、25年度10%、26年度が10%となっている。

文化財のさらなる保全と活用を

答 資料館の移転先は議会と相談し決定。歴史は島誌改定作業を通じて検証する

八丈町歴史民俗資料館の移転先を旧測候所に移転させる案が提起された。その場合のメリットとデメリットは。

答 教育課長 06年度に実施した耐震診断を受け、教育委員会で協議を行った結果、資料館は八丈島の歴史と文化の象徴として再整備することになった。代替地の選択肢の一つが測候所だが現在貸借可能か不明な状況。測候所に移転する際のメリットは財政的な負担が少ないこと、最低限の期間で移転できること。デメリットは周辺一帯を新たに文化ゾーンとして整備する必要があること。

問 自分は陣屋跡がベストと考えるが、候補地それぞれ

の色々な要素を比較して、それを議会や協議会でオープンにしながら検討を重ねていくプロセスが必要。決まった結果を知らせるのではなくメリット、デメリットを比較しながら決定していくべきでは。

平成30年8月移転を目前に28年度中に候補地について結論を出したい。議会とも当然相談しながら進めて行きたい。

津波で助かったひとりの妊婦が男子を産み母子交合による始祖伝説は創作である。八丈島は大切な資産である島の歴史に対する行政の積極性を感じない事が多いが、検証が進まなかった理由は何か。

答 丹那婆伝説については違う説もあるということまで理解している。ご指摘のとおり検証は現在進んでいない。今後については八丈島誌の改定作業の中で、検証を進めていく。

都立八丈高校の島外生徒受け入れについて

答

平成29年4月の受け入れを計画している



山下 巧 議員

◆所要時間 12分

八丈高校は1948年都立園芸高等学校八丈分校として開校。1950年八丈高校、1951年には明治大学付属高校を吸収し普通科と定時制、併合科の園芸、家政科で8221人もの卒業生を輩出してきた。

昭和45年の卒業生175名をピークに減少し、今年の卒業生は53名、特に併合科においては学年0名もあり充実した教育施設、環境にありながら学科の存続が懸念される。定員360名に対し149名と大幅に下がっているものの大学への推

薦枠や就職にも恵まれ魅力的な高校となっている。

島外生徒の受け入れは久米島や隠岐などですでに成果をあげていると聞く。留学生による刺激や学力アップ等の教育的効果、島の将来における活性化、交流人口の増加、跡継ぎ定住、しいては空き家対策に繋がること期待される。高校生の存在は島の将来に特に重要で母校は人生のよりどころにもなり、郷土愛を育み、若者視点で島の将来を考えるまさに人材育成の基本を育てる学び舎と位置付けられる。

閩東京島しよの都立高校では、神津島高校がいち早く準備を進め28年度の島外学生受け入れがスタートする。八丈町の計画と進捗状況は。

閩教育課長 八丈町では平成28年度に夏休みを利用して2泊3日のショートステイを募集し、体験入学や島の自然や文化に親しみ八丈島の魅力を伝えてホームステイ先を確保した上で募集を行い試験の結果を得て平成29年4月の受け入れを計画している。

閩都のホームステイ案はハードルが高いと聞く。空き民宿を寮とか下宿に利用してはどうか。ターゲットを八丈出身の孫の世代にすれば、親戚もあり島に馴染み易く、孫が来れば家を直したり跡継ぎの期待もできるが。

閩空き民宿を利用した島外からの孫ターンについては参考にしたい。

トコブシの陸上養殖を

答

生存率の高い魚貝類を視野に対策したい

閩八丈島は豊富な海産物によって活気ある豊かな島を築き上げてきた。大きな魅力だった天草、トコブシ、

メットウ、イセエビはほとんど見られなくなり漁業従事者は激減した。八丈島水産試験場ではトコブシの陸上養殖に成功している。漁業、観光産業の振興のため事業化の推進と急激に海草が枯渇してしまった原因について徹底した調査をし復活を期待したいが今後の取り組みは。

閩産業観光課長 事業化の推進と海況の調査は平成23年度から3ヶ年八丈島近海5ヶ所をブロック分けした調査によると、黒潮の変動に伴い、天草が減少。トコブシ資源の衰退に大きく関係すると報告されている。その後、モニタリング調査

を継続実施しているが、トコブシは平成23年度にキセノハリオチス菌が発生し、稚貝の生産は停止された。

今後、水産関係の施策として、漁業担い手確保雇用促進事業と地域担い手協議会で漁業就業者確保と養殖事業の生存率の高い魚貝類を視野に対策をしたい。

閩栽培漁業は町の施政方針で以前から事業化に繋げるとあるが、仕組み作りへとトーンダウンしている。八丈島近海だけでなく、青ヶ島、小島、三宅島を含めた海について研究をしっかりとやってもらえないか。

閩担い手確保協議会で議題として取り上げたい。



水揚げ調査でのトコブシ

スポーツ団体等の来島と合宿に伴う室内練習場の建設前倒しを

答
平成28年度に方向性、平成30年度以降に工事施工を予定



浅沼 憲春 議員

◆所要時間 12分

今年2月に東京経済大学の野球部80名、早稲田・明治大学のサッカー部約40名、総勢120名の学生が2年連続来島した。

先日の町長の施政方針では、観光・商工振興の中でスポーツ合宿に力点を置いた観光誘致に取り組みを継続し、効果的な集客を図ると述べていたので、スポーツ来島者を増やすために質問する。

固 冬場の合宿は強風と雨天等の悪天候でスケジュールは大きく左右され、毎朝練

習場の確保や交通の移動、昼食の配送先の変更が余儀なくされ、特に坂上の体育館を使用する場合は移動手段、手狭な体育館での限られた練習、人数によっては分割・分散される等の非効率な練習となる。来島した関係者は口々に、室内練習場の早期建設を望んでいる。

室内練習場を平成30年に計画しているが、前倒しでの建設は考えられないか。また、規模や建設費等の計画を解る範囲を教えてください。

答 教育課長 平成28年度に基本計画・測量・地質調査、平成29年度に実質設計・造成工事、平成30年以降に工事の施工を予定している。

固 飛行機や船が欠航した場合の対策について、欠航時は宿泊先に缶詰状態となり、費用等の問題から欠航時の対策や補助を考慮するべきではないか。欠航時に温泉や観光への移動のための交通費や宿泊費の助成や、欠航時以外でも地元団体との交流会への補助金を考えてはどうか。

欠航の時こそ島のおもてなしがリピーターを作り、新たな来島者を呼ぶものと考ええる。

答 産業観光課主幹 スポーツ合宿については、1人あたり1日千円、1団体30万円を上限に島内の移動手段として経費を負担している。

東経大野球部の合宿では飛行機が欠航となり1日延泊となった。欠航時の交通費や宿泊費の助成については、島内交通費においては今後1団体の人数が増加すると、上限を超過する事が予想されるので、30万円の上限枠の設定を協議する。延泊となれば費用負担は

大変であるが、本来の目的であるトレーニング等の支援を充実させていきたい。交流会については地元団体と相談したい。



東京経済大学合宿風景

八丈町火葬場の名称変更について

答
仏式以外の宗教のあり、変更は考えていない

最近八丈町火葬場の利用が増えているが、火葬場という響きが良い印象を持たない方もいるのでは。火葬場の名称変更を考えてみてはどうか。

固 火葬場とは遺体を火葬する場所、斎場とはお通夜や告別式等の葬儀を執り行う場所と認識している。

公営の場合、火葬場と葬儀会場を併設する施設を斎場と呼ぶ自治体も多くなってきたおり、八丈町火葬場もお通夜や告別式も可能であり、火葬もできる施設なので、斎場と呼べる施設ではないか。

答 住民課長 平成20年10月から供用開始となった、現火葬場の建設の基本方針は、旧火葬場と比べ火葬場としての機能向上を図るとともに、待合室に仏式におけるお通夜と葬式の際の供養が可能な機能を兼ね備えた施設として建設された。葬儀を行う施設として、使用する場所を斎場と証する事が仏式の多くの方が認識となつている事は事実だと思ふが、八丈町では仏式以外の宗教やお別れの儀式を執り行わない、火葬のみを行う場合にも遺族や参列者が違和感や支障をきたさないように、施設名称を八丈町火葬場と称することが、今後の全ての住民の方の用に寄与することから名称の変更は考えていない。

介護保険における地域支援事業の内容はどのように変わるのか

答 住民主体の地域で支え合う仕組みをつくる



奥山 幸子 議員

◆所要時間 28分

平成27年に行われた介護保険制度の改正によって、町は平成29年度までに要支援者向けサービスのうち、訪問介護（ホームヘルプ）と通所介護（デイサービス）を、地域支援事業に移行することになった。具体的にどのように変わるのか、住民に対してわかりやすく説明する必要があると思う。

問 サービスの内容と利用者の負担はどう変わるのか。

答 福祉健康課課長補佐

老人クラブや高齢者が集まる場でいいいに説明していく。利用者については地域包括支援センターを通じて説明する。

問 利用者の負担が増えるのか、サービスの低下はないのか具体的な説明を。また、ボランティア募集は難しい面も予想されるので、シルバー人材センターに委託するという考えはないか。

答 これまでより利用者の負担が増えることもサービスの低下もないと考えている。ボランティア募集やシルバー人材センターなどを通して声をかけていく。

問 シルバーに介護支援部門を設けた場合、国や都の補助はあるのか。

答 そうした場合、都の補助があるのかについては確認したい。

問 原則として国や都の財源は現行どおり確保できるか。

答 広報で知らせる。さらに

問 対象となる方々へ周知を行なうためにどのような方法を考えているか。

答 広報で知らせる。さらに

選挙権年齢の引き下げに対する町の対策は

答 議会へ傍聴の依頼や「高校生議会」の開催を打診

将来を担う若い世代の声をこれまで以上に政治に取り入れるためとして、選挙権年齢の引き下げが決まり、この夏の参議院選挙から適用されることになった。町の場合、高校生の一部と社会人が対象になるが、町の将来を託せるような人材を育てるという意味で、政治に関心をもってもらうことは重要だ。

問 町がこれまで実践してきたことはどのようなものか。

答 総務課長 成人式で「はたちノート」を渡している。投票用具一式の貸し出し、子ども議会の開催や八丈高校全生徒向け選挙の講義、模擬投票などを行ってきた。

問 学校現場で、政治や選挙についてどう授業に取り入れているか。

答 八丈町議会への傍聴を授業に組み入れる依頼や「高校生議会」の開催を八高に打診している。

問 若い世代の政治活動の支援をどのように進めるか。

答 高校生の政治活動については、政治活動そのものが自らの意志で行うものであり、行政は一切かわらないとの立場だ。



八丈高校で行われた模擬投票

介護保険制度改正に對しての取り組みは

答 介護予防体操の取り組みや実現可能なサービスについて検討していく



沖山 恵子 議員

◆所要時間 26分

平成29年度実施予定の介護保険制度の方針はどのようなものか。また、この制度改正の対象予定の人数は何人か。

問現在、要支援の認定者は何人か。

答 福祉健康課課長補佐 直近の要支援認定者189名で内115名が介護保険利用者。

問訪問介護でヘルパーを利用している方は何人か。

答 訪問介護のヘルパー利用者は45名。

問デイホームを利用している方は何人か。

答 デイホーム利用者は69名。

問要支援の方のみの介護保険の費用はいくらで、全体の割合か。

答 保険費用は昨年実績で約4000万円。全体の4・5%。今後は、高齢者自ら介護予防に取り組んでいただくようになる。実績を上げている自治体を参考に28年度から試験的に介護予防体操に取り組む。また、サロン等の集まりは関係機関や高齢者と協議し、実現可能なサービスについて検討する。

旧測候所の管理費はいくらかかる見込みか

答 少なくとも778万円は必要と考える

問町の新庁舎は建物の維持管理費だけで年間5000万円以上かかっており財政を圧迫している。旧測候所を資料館にする計画があるがエレベーターを有する建物の管理費は多額になると推測する。平屋の他の施設のほうが安く済むと思う

が、管理費はいくらかかる見込みか。

答 建設課主幹 現在の資料館の維持管理費は光熱費も含め約500万円。旧測候所は平面図しか資料がない。推計は困難であくまでも面積が同程度の町の類似施設からの推定だが、エレベーターの保守管理や電気代等含め少なくとも778万円は必要と考える。庁舎のエレベーターの電気代は推計9万円。

ふるさと村に年中スタッフの常駐を

答 人材確保を含め、前向きに検討する

問観光資源としてふるさと村は素晴らしい。もっと活用し年中スタッフを常駐させられないか。

答 産業観光課主幹 シルバー人材センターに業務委託し、平成26年度は3300名接待している。人材確保を含め前向きに検討する。



資料館移転候補地のひとつ旧測候所

高齢者向けに住宅政策の転換を

答 必要性を見極めて進める



菊池 睦男 議員

◆所要時間 54分

町営住宅の郵便受け箱と世帯主表示の設置について

町営住宅の郵便受け箱と世帯主表示の設置について
町営住宅の郵便受け箱と世帯主表示の設置について
町営住宅の郵便受け箱と世帯主表示の設置について

答 建設課主幹 3階以上の住宅には、出入口に受け箱を設置する事になっているので、郵便局と調整の上、平成10年以前に建てた10棟110戸分に追加設置する。表示については、義務ではないので入居者の判断に任せたい。なお部屋番号の表示をするので、そこを徹底すれば誤配は改善する。配達側の努力も必要。

問 高齢者の町営住宅は、1階部分を利用しては、利便性のいい場所に2、3階建てのエレベーター付の住宅政策へ転換すべきではないのか。

答 町の人口構成を考えれば、今後、高齢者の入居希望は増えるので、高齢者向け住宅は重要。必要性を見極めながら進めていく。

問 国の住宅リフォーム助成制度を制度化して、個人住宅への助成ならびに建設業者への仕事喚起を図ったかどうか。

答 企画財政課長 政策課題の対応を含め、検討していく。



中道団地（手前がH棟、奥がI棟）

「地域再生計画」策定に向けプロジェクトチームの立ち上げを

答 民間の方と協働できる仕組みと併せて検討する

前議会で「創意に富んだ八丈町の再生への道を、政策として打ち出すべき」無投票だったので、政策や公

約を知る機会が無かった。活字媒体で公表するべき」と求めてきた。『施政方針』に今後4年間の公約と抱負は読み取る事は出来ず、町民は大きく失望するのではないか。

問 地方創生の肝になる部分は、28年度に始まる「地方創生推進交付金」を活用した「地域再生計画」を総理大臣に提出して認定を受ける必要がある。「再生計画」策定のコンセプトとプロセスをどう考えているか。又、プロジェクトチームを立ち上げたらどうか。

答 企画財政課長 総合戦略の内容を精査して交付金の趣旨の相応しい事業を検討していく。

プロジェクトチームは、官民共同も重要な要素なので「地域再生計画」の策定段階から事業執行まで民間の方と共同できる仕組みも併せて検討していきたい。

問 28年度の予算書に創生事業に関する交付金は1円も

ない。地方創生といくら叫んでも金の出所がない。国は、新年度に交付金の措置をしないのでどうやって事業をやれというのか。町長、地方創生とは、かくのごとくの内容である。国の言う事を満額そのまま受け取って町政を進めると、大きな穴を開ける事になると再々批判も警告もしてきたが。

問 町長 睦男議員が期待していない創生交付金というが、私は期待している。確かになかなか見えない部分がある。石破大臣が総合戦略を打ち出して、そういう戦略を評価して数値を出していく部分を、私は評価している。広域連携、官民一体とか事業化の理屈付けは難しく、企画も頑張っている。皆さんと知恵を出して取り組んでいく事が大事。末吉の熱中小学校も国から何が先駆的なのかという判断もあつたが、やっとお示しが出来た。また、プロジェクトは、成果を評価する訳でこれは続けていきたいと思っ

第一回定例会の質疑から

社会人のための「熱中小学校」をめぐる

沖山恵子議員 地方創生加
速化交付金858万700
0円の使い道は。

企画財政課長 旧末吉小学
校の活用の一環として考え
がある。夏場の学生受け入
れや地域の支援を行ってい
る。今後も条例等を整備し
た上で継続していきたい。

また、通年利用できるように
企業研修をできるよう考
えている。今回の補正に関
しては、山形県高島町から
提案があり、廃校となった
学校の施設を利用し、熱中
小学校という子供目線に戻
った社会人塾。最先端技術
の講義や地場産業を学んで
いくところである。通年利
用もでき、知名度や交流人
口も増えるメリットがあ
る。

岩崎由美議員 広域連携と
いうことで、高島町での地
域貢献は。

企画財政課長 20件ぐら
いのメディアにも取り上げら
れ、県含め85名の交流人口、
1000人以上の視察。企
業サテライトオフィスも進
み定住に繋がっている。

菊池睦男議員 大人の学び
舎（熱中小学校）の中身の
説明を。

企画財政課長 観光人材の
育成を行う。
【緊急計上した理由は。末
吉地域住民への周知は。の
質問あり。】



熱中小学校オープンスクール

農地の最適化とは

奥山幸子議員 農地利用最
適化推進委員報酬が計上さ
れている。国からの政策で
はあるが、農地の最適化が
進むという評価はどう見る
のか。

産業観光課長 中間管理事
業に関係があるが、全国的
に遊休農地が増えている、
八丈町も変わらない。遊休
農地を解消していくために
最適化推進委員の方に動い
て活動してもらう。

奥山幸子議員 八丈町の遊
休農地はどれくらいあるの
か。

産業観光課長 八丈町の農
地面積は618ha。そのうち、
遊休農地は142ha。約30%
が遊休農地である。農地
中間管理事業の中で賃
借等行っていく。

奥山幸子議員 推進委員が
いることによって、遊休農
地をどれくらい減らすの
か。

産業観光課長 31年度まで
に全体の5%減らしていこ
うとしている。

認定農業者の基準とは

山下崇議員



認定農業者
の基準は。
現状、何人
いて、どれ
くらいの平
均年収なの
か。

産業観光課長 年間所得で
300〜600万円を農業
経営として計画を立て、そ
れを5年間の目標に据えた
ものを町としては認定して
いる。認定農業者132名。
計画上の年収450万円。

山下崇議員 5年間の計画
を立てて、目標を達成して
いない人でも継続してやっ
ている。町長は農業につい
てどのように進めていくの
か。

町長 八丈町の遊休農地
利用については、東京都の
中で一番進んでいる。農業、
漁業に対しては、手厚く支
援をしている。島ではいろ

いろな観葉植物が出ている
ので支援し、発展させてい
きたい。

【耐風強化型パイプハウス
等の基準見直しを。等の質
問あり。】

出産祝い金は一律なのか

水野佳子議員



出産お祝い
金は300
万円予算計
上している
が、1人目
も2人目も
一律か。1人目、2人目、
3人目によって金額が異な
るのか。

福祉健康課課長補佐 現在
は1人目、2人目にかかわ
らず一律5万円で支給。定
住1年以上が条件。転入後
に出産した方は、1年後に
申請してもらうこともあ
る。

【祝い金は3人目、4人目
等には一律ではなく増やし
ては。等の質問あり。】

大里地区の玉石垣の修復を



修復予定のシートに被われた玉石垣

水野佳子議員 玉石垣が崩れ、長い間、ビニールシートを被っている。八丈島にとって自然の景観というのは、観光客にとって魅力的である。今、崩れている玉石垣は早急に修復をすべきではないか。

教育課長 平成28年度は、奥のほうで崩れているため、そこから修復していく。所有者の方や大里玉石垣保存会と相談しながら、対応していく。
【文化財協議会で議論されているか。等の質問あり。】

伐採木処理について

山下崇議員 伐採木処理委託料、約300万円を増額補正するの理由と内訳は。

住民課長 当初予算で850万円組み、12月補正で300万円増額し、実績に基づいて今回290万円の処理委託料を増額した。中之郷埋立処分場の伐採木処理事業については、町独自で試行的に行いながら大規模に進めていきたい。それにより委託料が減少していくと考える。

山下崇議員 中之郷埋立処分場での処理作業費は。

住民課長 委託料とは別。破砕機を使用しているため特殊作業員賃金を含めて、平成26年度に全体で、379万8000円。
【伐採木を堆肥化して販売できないか。伐採木を他に利用できないか。等の質問あり。】

国保会計収納状況は



奥山博文議員 国や都の補助金は収納率が上がったため増えた。過去、八丈町の収納率の順位は東京都の中で低かったが、今の収納率は。

住民課長 平成26年度までの同規模市町村実績値で都平均約91%。過去5年間の収納率等で計算。町は約87・75%。都の補助金は0円だった。平成27年度では、市町村平均約92・45%。過去5年間の収納率等で計算。八丈町は94・74%に収納率が上がった。収納率が上がったことにより、都の補助金だけで900万円増額。

奥山博文議員 町村での収納率は。

税務課主幹 平成28年1月末時点、東京都13町村中、現年度で10番。滞納分で5番。合計で10番。

●その他

- ◎ 地熱資源開発調査事業はどうなっているか
- ◎ コミュニティセンターテニスコート改修工事減額理由は
- ◎ マイナス金利となり企業債の利子が下がった場合、借り替えは可能か
- ◎ 医療従事者の確保への施策は
- ◎ 学校の夜間警備業務委託減額理由は
- ◎ 航空機搭乗率は
- ◎ なども質問しました。

発議

低廉な航空運賃と便数を確保するための決議

提出者…菊池睦男
賛成者…浅沼憲春、山下崇、岩崎由美、水野佳子
原案可決

低廉な航空運賃と便数を確保するための意見書

提出者…菊池睦男
賛成者…浅沼憲春、山下崇、岩崎由美、水野佳子
原案可決



八丈町議会議員 山口英治氏が、平成28年5月11日にご逝去されました。享年66歳。

故人は、平成6年、八丈町議会議員に初当選。各種常任委員長や監査委員を歴任。平成19年、地方自治の育成発展に貢献し、功労顕著と認められ、八丈町自治功労表彰や、平成23年には、議会活動を通じ地方自治の進展のために大きな役割を果たしていることを高く評価され、全国町村議会議長会自治功労者表彰を受賞されました。6期21年6ヶ月、住民の福祉向上と道路や農業などの生活基盤の整備に尽くされました。ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。

町ナビ

日本政府観光局（JNTO）の推計によると、2015年に訪日した外国人客は過去最高の1973万人で、前年の約1.5倍。その6割以上がリピーターだという。これまでは東京、富士山、京都といったゴールデンルートを回る旅行者が多かったが、行く先の多様化で、八丈島にも今後、外国人観光客が増えることが予想される。大型連休期間も、島内を観光する外国人の姿を多く目にしたが、ガイド、宿泊、交通、食事など、さまざまな面でのインバウンド対策が求められることになりそうだ。



主な議決事項

3月定例会 平成28年3月1、22、23、30日開催

- 専決処分事項の報告及び承認について（平成27年度八丈町一般会計補正予算）ほか専決処分2件
- 八丈町職員懲戒審査委員会委員及び補充員の任命の同意についてほか同意1件
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 平成27年度八丈町一般会計補正予算 ほか補正予算15件
- 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 ほか条例制定・改正14件
- 檜立中之郷線道路改良工事請負契約の変更 ほか契約変更1件
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約ほか規約変更1件
- 平成28年度八丈町一般会計予算 ほか当初予算7件
- 八重根漁港港湾区域内の公有水面埋立てについて
- 議員の派遣について（平成28年度東京都町議会議員講会）ほか3件
- 八丈町辺地総合整備計画の策定について
- 八丈町議会航空運賃特別委員会の審査報告について

主な会議

総務文教委員協議会 平成28年2月1、3日開催

- 平成28年度事業計画について
- 町の小中一貫教育について（三原小、三原中）
- サイエンス部、サイエンスクラブへの支援について
- 歴史民俗資料館、移転の進捗状況について
- リーダーシッププロジェクト参加者による発表

経済企業委員協議会 平成28年2月1日開催

- 平成28年度事業計画について

全員協議会 平成28年2月8日、3月30日開催

- 平成28年度事業計画について
- 平成28年度要望活動項目について
- 地熱発電利用拡大の進捗状況について

議会運営委員会 平成28年2月23日、3月11日開催

- 平成28年第一回八丈町議会定例会について
- 一般質問について

編集後記

記念すべき第50回フリージアまつりが終了しました。会場へは昨年を上回る5100人あまりの観光客が訪れたとのこと。3回目となるインフィオラータへは島内外約2000人の皆さんが集まるなど、年々盛り上がりを感じています。その一方で、フリージアの花自体が島から徐々に姿を消しつつある状況に寂しさを禁じ

得ません。「花の島」としての積極的な観光施策が今こそ必要ではないでしょうか。園芸種のみならず、山の裾野を白く染めるオオシマザクラや初夏のガクアジサイもいいのでは？との声を聞く今日この頃。島ならではの自然を活かしていきたいですね。

岩崎由美

発行人 八丈町議会議長 土屋 博

編集 議会だより編集委員会 委員長 奥山幸子 委員 山本忠志 山下 崇 岩崎由美

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷 2551-2 tel 04996-2-2788 fax 04996-2-4437